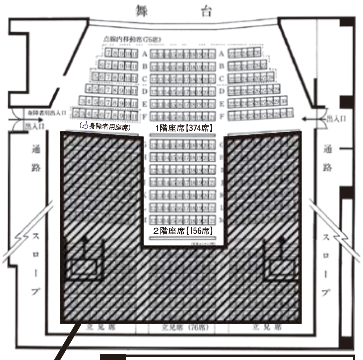
「広島神楽」定期公演へようこそ！

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。
(1)座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
(2)上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
(3)お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険**な場合がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
(4)撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※ビデオカメラでの動画撮影、フラッシュの使用は禁止します。
（マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く）

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアでお願いいたします。



ご注意　ビデオカメラでの動画撮影、フラッシュを使用しての撮影は禁止とさせていただきます。

スマホや携帯で撮った動画や写真をSNSにどんどんアップして
広島神楽の魅力を発信してください！！

6月1日のタイムスケジュール

出演：小原神楽団（北広島町）
19:00～開演
19:05～第一幕『天神』
（およそ40分）
～幕間（休憩）～
20:00～第二幕『塵倫』
（およそ40分）
20:45～記念撮影会
衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。
本日の記念に是非ご参加下さい。
また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。
（舞台へは靴を脱いでお上がりください。）

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

小原神楽団（こばらかぐらだん）プロフィール　～山県郡北広島町～

小原神楽団は島根県矢上より、およそ280年前に教わり今日まで伝承されています。
昭和61年には小原大元神楽が県の無形文化財に指定され、現在も大元神楽の系統を受け継ぎ七年毎の式年祭には小原大蔵神社に吉ヶ口中州に祀られる大元神を迎え、伝承しています。
現在は少人数の団員数ながら郷土芸能の伝承のため努力しています。

第一幕『天神』（てんじん）

平安時代、宇多・醍醐（だいご）天皇の代に菅原道真（みちざね）はその文才を認められ、右大臣まで上り詰め、世にも稀な出世をします。これを妬んだ左大臣・藤原時平（ときひら）は謀（はかりごと）をめぐらし、道真を落とし入れます。
九州・太宰府に左遷された道真は無実を訴えますが許されず、その地で無念の死を迎えます。
すると、都では天変地異が続き、大きな雷鳴がとどろいたと言います。道真は雷神となり、鬼となり果てた時平を討つ。という物語ですが、小原神楽団では時平ではなく伴大納言を討つ物語になっています。

【出演】

大太鼓 ･･･ 藤堂　寿宏	菅原道真 ･･･ 西田　聖仁	伴大納言 ･･･ 松田　彰
小太鼓 ･･･ 栄田　達也	随　身 ･･･ 河野　正明	
手打鉦 ･･･ 折本　守雄		
笛 ･･･ 橋奥　順也		

第二幕『塵倫』（じんりん）

人皇第14代仲哀（ちゅうあい）天皇の御代、異国より日本征伐を企てて数万の軍勢が攻めてきました。
その中に塵倫という身に翼があり、黒雲に乗って虚空を自由に飛び回る神通自在の大将軍がおり、国々村里を荒らし、多くの人民を滅ぼしていました。しかし、我が国にはこの大悪鬼にかなう者がいませんでした。
そこで仲哀天皇自ら不思議な霊力のある十善万乗（じゅうぜんばんじょう）の神変不測の弓矢を持って、神通力を持ち戦術にも長けた鬼を退治されたという物語です。

【出演】

大太鼓 ･･･ 藤堂　寿宏	仲哀天皇 ･･･ 上前　力	塵　倫 ･･･ 栄田　達也
小太鼓 ･･･ 西田　聖仁	高麻呂 ･･･ 橋奥　順也	
手打鉦 ･･･ 河野　正明		
笛 ･･･ 栄田　小奈江		

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。